

# 名家連ニュース

平成30年6月8日(金)  
 発行：特定非営利活動法人  
 名古屋市精神障害者家族会連合会  
 会長 堀田 明  
 TEL/FAX (052) 846-5576 NO. 527号

## 在宅障害者150万人増加の886万人—深刻な高齢化問題

厚生労働省の推計は、2014年～2016年に実施した調査で、前回5年前の推計(2009年～2011年)に比べて、身体は1.11倍、知的は1.46倍、精神は1.23倍と全体平均で1.19倍と増加しています。

※総数欄の( )内の数字は、前回調査の障害者数です。

在宅で生活する障害者は、前回比で149.6万人増の886万人で、施設(精神科病院)で暮らす人は、前回比9千人減の50.6万人となっています。

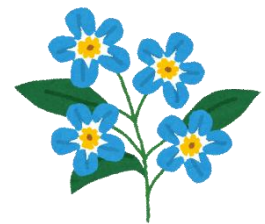
※詳細な情報については、厚生労働省や内閣府のホームページ及びネット上で検索してください。

	総数	在宅	施設入所
身体障害者(児)	436.0万人 (393.7万人)	428.7万人 (98.3%)	7.3万人 (1.7%)
知的障害者(児)	108.2万人 (74.1万人)	96.2万人 (88.9%)	12.0万人 (11.1%)
精神障害者	392.4万人 (320.1万人)	361.1万人 (92.0%)	31.3万人 (8.0%)
障害者数	936.6万人 (人口の約7.4%)	886.0万人 (94.6%)	50.6万人 (5.4%)

障害者に占める高齢者の割合でみると、身体障害者は実に4人のうち3人は65歳以上となっています。

( )内は、前回と比較した数字です。障害者の高齢化、障害者を支える家族の高齢化も深刻となっており、高齢化対策は、喫緊の課題となっています。

	65歳以上の者	65歳未満の者
身体障害者(児)	74% (5ポイント増)	26%
知的障害者(児)	16% (7ポイント増)	84%
精神障害者	38% (2ポイント増)	62%
全体平均	52%	48%



▷身体障害者(児)及び知的障害者(児)数は平成28年(在宅)、平成27年(施設)の調査等、精神障害者数は平成26年の調査による推計。なお、身体障害者(児)には高齢者施設に入所している身体障害者は含まれていない。

▷平成28年の調査における在宅身体障害者(児)及び在宅知的障害者(児)は、鳥取県倉吉市を除いた数値である。

▷在宅身体障害者(児)及び在宅知的障害者(児)は、障害者手帳所持者数の推計である。障害者手帳非所持で、自立支援給付等(精神通院医療を除く。)を受けている者は19.4万人と推計されるが、障害種別が不明のため、上記には含まれていない。

▷複数の障害種別に該当する者の重複があることから、障害者の総数は粗い推計である。